☞ GAPの取組 (個別認証)

株式会社 グッドリーフ

GLOBALG.A.P.

サラダ野菜

<基本情報>

所在地: 佐賀県唐津市

【経営概要】役員2名・従業員 11名(うち外国人技能実習生(女性)1名)

【農場概要】栽培面積:48a(リーフレタス等サラダ野菜の周年出荷)

パートナー農場: 3 園 95 a

[(株)エバーグリーン、(株)サンファーム、ライフグリーン]

【経営理念】「人の健康と地球環境に配慮したおいしい野菜の提供」



<GAPの取得のきっかけ>

◆民間就業体験から、農業 経営改善にもGAPが必要 不可欠との経営判断



2007年 J G A P 取得 JGAP認証佐賀県第1号

2014年 GLOBALG.A.P.取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆作業手順のマニュアル化と従業員への指導・徹底 作業手順をマニュアル化し、全従業員へ意識付け。 パートナー農場への波及(3農場もJGAP取得)。
- ◆生産システムの開発と履歴の管理 自社独自の生産システムを開発。作業責任者にはタブ レット端末を付与し、データによる作業管理を徹底。





<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆従業員の意識・品質の向上

クレーム対応を作業手順書に明記するとともに、クレー ム処理のシミュレーションを会社全体で年1回実施する ことで、従業員の意識向上、商品の品質向上に寄与。

◆受注量の増大

GAPに沿った農場運営が大手 量販店Nストア等に評価され、 受注量が拡大。

◆生産工程の見える化による作業 効率化と適正な在庫管理

経験と勘に頼る作業管理から 作業手順をマニュアル化し、 責任者の配置、毎日の作業の 記帳を徹底することで、作業 の効率化、適正な在庫管理を 実現。

グッドリーフ農場ルール 2011年12日15日策定 2013年11月1日改定

- 1 作業前には石鹸を使い、手洗いをする
- 2 トイレの後には手洗いをする。
- 3 手、指にケガがある時はゴム手袋を必ず着用する。
- 4 作業時は帽子、エプロンを着用する。
- 5 カゼ、伝染病、の人は作業には参加しない。
- 6 農薬、肥料を扱った後で調整作業はしない。
- 7 コンテナ、はさみは使用後洗浄、殺菌をする。
- 8 農場内のゴミは特定の場所に管理する。 9 作業室は作業後必ず清掃する。
- 10 植物残渣は毎日特定の提所に座棄する

- 1 農業散布、肥料調合後はすぐに片付け、手洗い、着替えなど行う、
- 2 調整室内には農薬、肥料を保管しない。
- 3 収獲車を収獲以外の事に使用した場合は必ず洗浄する。
- 4 農産物搬送の場合は専用のコンテナを使用する。
- 5 秤、はさみ、などは他の目的に使用しない。

- 1 農場内では歴経はしない。所定の場所で概様する
- 作業時には禁身旦は外す。
- 3 農場内では飲食しない。

ig(16ig) 平成30年12月現在

GAPの取組 (個別認証)

肥前原木しいたけ工房(中山茂廣)

JGAP

しいたけ

<基本情報>

所在地:佐賀県唐津市

〈経営概要〉 家族経営+農福連携(就労継続支援B型事業所)

〈農場概要〉 所属農場:1農場

栽培規模:原木30,000本(年間生産量約2トン)

生産商標:山鮑(やまあわび:大型しいたけ)

〈経営理念〉「持続可能な環境保全型農業を通じた社会貢献」



<GAPの取得のきっかけ>

◆農商工連携のパートナー 会社と東京オリパラへの食 材提供を目指す



2017年 JGAP認証

日本能率協会によるJGAP認証

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆労働環境の整備(ハード面の導入経費等)
 - ・乾燥施設の改修、燃料タンクの集約と屋外設置。
 - ・作業施設の整理・整頓、林業資材との区分。
- ◆GAP基準に沿った作業工程の就労者への指導

・スタッフ(事業所職員)へ 作業に当たっての手順や

決め事を 習熟して もらい、 就労者へ 徹底。



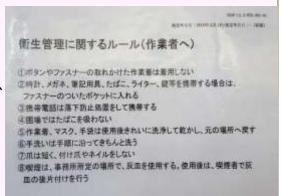


<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆自身の栽培・作業管理意識の向上
 - ・原木栽培にこだわり栽培を続けているが、GAP基準に沿った栽培、乾燥工程を取り入れたことにより、自身や作業員の安全確保、安心・安全なしいたけ生産への意識の向上と商品への自信。

〈今後の目標〉

- ◆東京オリパラへの食材採用、輸出
 - ・パートナー会社と 連携し、東京オリ パラへの食材提供 を目指す。食材は を目指す。れれば 県内の同業者への 波及を図り、安定 した生産体制を くり輸出も検討。



(17) 令和3年2月現在

⇒GAPの取組 (個別認証)

たにぐちファーム



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○徹底した農場管理を行うことで、安全・安心の農場であ

〇ホテルやスーパーとの**取引のきっかけ**となり、**販路拡大**

○整理整頓が格段に改善され農作業事故などのリスクが分

IGAP

トマト

<基本情報>

所在地:佐賀県鹿島市納富分1780

構成員:3名(夫婦2名、パート1名)

栽培面積:トマト 20a(カラフルミニトマト6種、大玉1種)

(カラフルミニトマトは、ぼかし肥料をベースに、栽培期間中は有機物100%の肥料を使用。)



【経営理念】

トマトの美味しさや安全・安心にこだわり、手間ひま惜しまず徹底した管理のもと、 ひとつひとつ愛情込めて育てる。子供の安全を考えた生産を行う。

『当ファームのブランド名"RICOTOMATO"(リコトマト)は、トマトが苦手な子供から大人 までRICOTOMATOの"とりこ"になってほしいという気持ちを込めています。』



〈GAP認証取得のきっかけ〉

○**子供の誕生**により、安全・安心な食品を提供したいという 思いから、安全・安心な農場であることを証明するため、国 際水準GAPであるJGAP認証を取得。

⇒ 令和2年4月JGAP認証を取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

OJGAP認証取得に係る膨大な資料作成

〇リスク評価の項目が多く、生産 から出荷の 工程において、普段

気がつかな いリスクを 洗い 出し対 応策を考え







「今後の意向」

かるようになった。

に繋がった。

・契約取引による販路拡大

ることが証明できる。

- ・自慢のトマトを出身地(大阪)に届け、 "とりこ"にする。
- ・子供達の農業体験の場を設けたい。

<問合せ先>

TEL: 080-6476-6834

https://www.taniguchifarm.jp/



GAPの取組(団体認証)

JAからつ唐津地区茶業部会

ASIAGAP

緑茶(生葉、荒茶) ウーロン茶(生葉、荒茶)

<基本情報>

所在地:佐賀県唐津市 構成員:組合員 26名

栽培面積: 75ha

品目:茶 生葉1,160t 荒茶250t

【経営理念】身近なお茶のことをもっとよく知ってもらい、

『唐津茶』を日本一の銘茶に育てたい。



<GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望 ⇒**平成25年7月 JGAP取得** ⇒**平成30年11月 ASIAGAP取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 部会員の取組意識の醸成
- JGAP取得の際、現状の茶価が維持できないばかりか、取引先も振り向いてくれないのではないかとの危機感があり、部会長が部会員を説得し、部会全員が取得
- ◆ 環境整備(ハード面の設置にかかる導入経費)
- ◆ ASIAGAP規則に対する理解
- JGAPの経験があり、移行は容易と考えていたが、 用語等難しい部分があった。
 - ⇒ ASIAGAP指導員の 差分研修を受講



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 販売単価の維持
- 茶の価格が低迷する中、GAP認証を取得したことにより、市況を上回る単価を維持。更新費用に充てることができた。

■ 生産履歴の把握

部会全員が取り組んだことにより、全員の生産履歴が 把握でき、トレーサビリティが容易に。

■ 部会員の意識向上

- 「整理整頓ができた」
- 「在庫管理がしやすくなった」
- 「自分が生産した茶葉に自信 が持てる」



(19)令和4年3月現在

☞ GAPの取組 (個別認証)

株式会社Y.Kカンパニー

IGAP

水菜・ほうれんそう 小松菜・たまねぎ

<基本情報>

所在地:佐賀県唐津市浜玉町

構成員:役員及び正社員3名、パート12名、海外研修生2名

栽培面積:16ha(内、ハウス2.5ha(100棟))

【経営理念】

私たちは、笑顔を耕していく企業を目指しております。



<GAP認証取得のきっかけ>

○東京オリ・パラに食材提 供することを目的に、GAP 認証を取得した。

また、オリ・パラ終了後 も、「安全・安心のものさ し」として、GAPは重要 であると考え、引き続き取 り組んでいる。



JGAP認証取得 ⇒ 2016年10月

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 審査関係の書類作り。
- 栽培管理に関する帳票作り。
- ハート従業員へのGAPの考え方を教えること。

〈問合せ先〉 TEL 0955-56-6966

HP http://ykcompany.co.jp/

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

OGAPの考え方に基づく、ハウス100棟の栽培記録をデータ化する ことで、品質の良い野菜を安定的に生産し実需者との契約販売に繋 がっている。

〇パート従業員の各個人の意識が向 上し、現在では、肥料担当、農薬担 当など役割分担が出来上がり、作業 効率の向上に繋がっている。

OGAPを通じた、県内外の生産者 との現地視察等の交流を行い、同 じ意識を持つ仲間が増えた。



く今後の意向>

○現在の生産面積の収量を上げて、その後、規模拡大を計画 的に行い、地域農業に貢献して行きたい。

(20) 平成30年12月現在

TEL(茶工場): 0954-43-2614

清 水 茶 業 組 合

JGAP

茶

<基本情報>

所在地 佐賀県嬉野市

〈経営概要〉組合員 17名

〈農場概要〉所属農場:18農場(組合員17農場、組合所有1農場)

栽培面積:33ha(成園31ha)

栽培品種:ヤブキタ、オクミドリ、オクユタカ、サエミドリ

〈経営理念〉「地域の気象特性を活かし、消費者へ安心・安全なお茶と

みず

して認められる産地づくり」



<GAPの取得のきっかけ>

◆取引先の大手飲料メーカー K社からの要請



2015年 JGAP団体認証

インターテックによる Ј GAP認証

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆全組合員の取組意識の醸成
- ◆労働環境の整備(ハード面の導入経費)
 - ・農薬保管庫、集荷加工工場の改修・機器の増設等。
- ◆生産履歴の管理
 - ・施肥・防除、収穫等の作業日報への記帳徹底。
- ◆リスク評価(農作業安全)
 - ・全ての圃場の農作業事故防止への注意点(圃場間の段差、農業機械の搬出入路)を改めて点検・整理。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆整理整頓による作業効率化や在庫管理でコスト削減
 - ・組合員の農業倉庫や加工施設で整理整頓が徹底され、 農作業準備、後片付け等の時間短縮、また、加工工 程での作業効率も向上。
 - ・農薬、肥料等資材の在庫管理で無駄な支出が減少。
 - ・異物混入や残留農薬へのリスク対応研修により、<mark>製品(荒茶)の品質向上。</mark>
- ◆茶園での農作業の安全管理点の見える化
 - ・農作業における注意事項を茶園単位で掲示したこと

により、組合員の農作業 農機具事故が大幅に減少。

- ・毎年自己点検を行いリス クの検証・改善。
- ・農作業事故への対応のため普通救命講習の受講。

7	-	1000	A Prof. Chicago	-		Secondarios (2. Sec. 2), American (4. Sec.)
,		*	SERVICE SERVICE SERVICES			## HOLDER OF THE REAL PROPERTY.
ï		description of the last of the				CHARTEN GOVERNMENT AND ADDRESS OF THE
ï		*	AND DESCRIPTION OF THE PARTY AND PARTY.			An address to the Book Statement of the Control of
ï		-	MANAGEMENT OF STREET		-	WWW. Bridger, Committee (1975).
				9.8	+=+	MARKET STOCKER, SCHOOLSEN, BOARD STANDARD, STANDARD, STANDARD, ARREST STANDARD, STANDARD, STANDARD, ARREST STANDARD,
		SPECK B	ASSESSMENT OF THE PARTY OF THE	44		electron labora exponents
+		Marie Se Line	Will Charle broken Coldens And			AND DESCRIPTION OF THE PARTY OF
+	-	man's	MERCHINE-RECLINATION			NAME AND PERSONS ASSESSED.
		-	Middle Country Sergeria mon			MONTHS MINISTER NAME OF

GAPの取組(団体認証)

JA伊万里GAP部会

JGAP

米 (ホシユタカ)

<基本情報>

【経営理念】

所在地:佐賀県伊万里市立花町1290-1 構成員:JA伊万里青年部 20名

栽培面積:米(ホシユタカ(長粒種)) 7 ha



ホシユタカ

伊万里産「ホシユタカ」のブランド化に向け、生産者、JA及び試験研究機関が連携し、栽培指針を定め高品質で安定した生産に取り組み、認知度向上と消費拡大に向けた活動を展開する。

耕作放棄地の解消とニーズにあった作付けを行う。

「生産したものを売る」から「売れるものを作る」に変える。



<GAP認証取得のきっかけ>

- ○関東の**米穀小売店から**佐賀県を通じ、炒飯やカレーなどに適した**長粒米「ホシユタカ」の栽培提案**があり、伊万里市が栽培地となった。
- ○国際水準GAP認証が、東京オリ・パラへの食材提供の 要件となったこと。
 - ⇒ 令和元年9月 JGAP団体認証取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ○生産者の理解を得て意識を変えること。
- 〇市・JAと連携したGAP認証取得の推進体制を確立する

ため、「伊万里・有田地区

GAP地域推進協議会」を設立したこと。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ○地域において、**GAPに対する意識が高まり、他の部会**でも**取組を検討**するようになった。
- ○物品の整理整頓や安全確認を行うようになった。
- ○JAの他の倉庫でも、リスク管理を行うなど、組織全体へ の波及効果があった。
- Oこれまで、**勘に頼っていた生産管理を見える化、数字化** し、伝えることができるようになった。

【今後の意向】

- ○輸出を視野に入れた販路拡大。
- ○販売先の二ーズに合わせたGAP認証取得。
- ○JA伊万里全体での国際水準GAPの認証取得。

<問合せ先>

TEL: 0955-23-5560

レシピコンテントを 開催し、消費者へ GAPと長粒米をPR

